

## 平成 22 年度当初予算 施策別概要

<b>226 安全で安心な水産物の 安定的な提供</b>
----------------------------------

( 主担当部：農水商工部 )

- |       |                     |           |
|-------|---------------------|-----------|
| 22601 | 水産資源の持続的利用と安全・安心の確保 | ( 農水商工部 ) |
| 22602 | 水産経営基盤の確保・充実        | ( 農水商工部 ) |
| 22603 | 水産生産基盤の整備           | ( 農水商工部 ) |

< 施策の目的 >

( 対象 ) 県民が

( 意図 ) 安全で安心な水産物の提供を安定的に受けている

< 施策の数値目標 >

施策目標項目 ( 主指標 )		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
漁業総生産量の全国に占める割合	目標値	-	3.4% (H18)	3.4% (H19)	3.4% (H20)	3.4% (H21)
	実績値	3.4% (H17)	3.8% (H18)	3.6% (H19)		

海面漁業と内水面漁業の総生産量の全国シェア。平成 22 年度の目標値は、平成 23 年春に把握できる最新のデータである平成 21 年度の実績値により測ることとします。

県の取組目標項目 ( 副指標 )		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
沿岸沖合漁業および海面養殖業の生産量	目標値	-	150,000t (H18)	150,000t (H19)	150,000t (H20)	150,000t (H21)
	実績値	142,545t (H17)	175,387t (H18)	162,909t (H19)		

< 進捗状況 ( 現状と課題 ) >

- ・ 安全で安心な水産物の安定的な提供に向けて、資源管理型漁業や栽培漁業などに取り組むことにより資源の維持増大を図るとともに、地域特性に応じた持続可能な養殖業を推進するなど、漁業者の経営の安定化・合理化を進めています。
- ・ 漁業協同組合が地域の水産業の振興に十分な役割を果たせるよう、組合員資格審査の徹底や財務改善を進めるとともに、広域合併に向けた取組を促進しています。また、合併後の漁業協同組合や漁業の目指すべきあり方についても検討を進めています。
- ・ 地域の特色を生かした多様で持続可能な経営体を創出するため、意欲ある漁業者グループの取組への支援や、新規就業希望者の受入体制整備への支援を行っています。
- ・ 水産業を取り巻く状況は、生産コストの増大、漁獲量の減少、就業者の高齢化等に加え、消費者の魚食離れの進行や魚価の低迷など、厳しい状況が続いているとともに、食の安全の確保や環境への配慮などの必要性もいっそう高まっています。
- ・ 水産物の持続的な生産を支える水産基盤整備及び漁場環境の保全・創造をはかる必要があります。

#### <平成22年度の取組方向>

水産物を安定的に提供するため、漁業者の自主的な資源管理の支援、漁業許可、漁業権免許制度などの的確な運用による水面の秩序ある総合的高度利用の推進、効果的な種苗の生産・放流による積極的な漁業資源の維持増大などの取組に加え、水産業・漁村の活性化方向について検討を進めます。

安全で安心な水産物を提供するため、生産履歴の記帳をはじめとする自主衛生管理の徹底や、環境に配慮した養殖業の推進などに取り組みます。

漁業の担い手を確保・育成するとともに、漁業協同組合が地域の水産業の振興に十分な役割を果たせるよう、財務改善や県1漁協構築に向けた取組を支援するなど、漁協の組織や経営基盤の強化をはかります。

コスト増大など厳しい条件下でも持続できるよう、新たな操業体制の構築など省エネ型漁業への転換を促進するとともに、水産物の新たな需要や新規販路の開拓などを支援することなどで漁業者所得の向上を目指します。

荒天時にも安心して使用できる漁港の整備や、県民の生命と財産を守るための海岸保全施設の整備を進めるとともに、水産資源の生育環境を保全・創造するための魚礁の整備、漁場環境の保全事業を推進します。

#### <主な事業>

##### (新)水産業・漁村活性化推進事業

【基本事業名：22601 水産資源の持続的利用と安全・安心の確保】

予算額：(21) - 千円 (22) 1,848千円

事業概要：三重県水産業の将来像及びモデル地域における持続的な漁業生産や漁村地域の活性化方向を示すための検討を進めます。

##### (重)東紀州地域の水産業活性化対策事業

【基本事業名：22601 水産資源の持続的利用と安全・安心の確保】

予算額：(21) 6,248千円 (22) 5,562千円

事業概要：地域特性を生かした持続可能な養殖の推進や経営安定に向けて、ヒロメ（海藻）の複合的養殖の技術開発に取り組むとともに、マハタの特産品化や、マダイ養殖の「生産情報公表JAS」の認証取得に向けたモデル的な取組を支援します。

##### (新)みえの養殖魚安全確立推進事業

【基本事業名：22601 水産資源の持続的利用と安全・安心の確保】

予算額：(21) - 千円 (22) 6,846千円

事業概要：養殖魚の有機スズ化合物残留試験、有識者による養殖業の安全管理の検討・推進、養殖資材の更新の促進などにより、安全で安心な養殖魚を安定的に提供する体制の確立をはかるとともに、これら生産情報の消費者への発信等を支援します。

##### (新)みえの真珠養殖再生支援事業

【基本事業名：22601 水産資源の持続的利用と安全・安心の確保】

予算額：(21) - 千円 (22) 50,152千円

事業概要：真珠養殖業の再生を図るため、優良母貝の安定確保や漁場環境モニタリングなどの取組を支援します。

外湾地区合併漁協早期自立支援事業【基本事業名：22602 水産経営基盤の確保・充実】

予算額：(21) 142,704千円 (22) 163,375千円

事業概要：外湾地区の漁協が、漁協の再編（合併）に取り組み、漁業者に対し、漁業者の生産基盤を支えるという漁協としての本来的な役割を十分に発揮できるよう、その経営基盤を早期に確立することを目的に一定の支援を行います。

強い漁家経営支援事業【基本事業名：22602 水産経営基盤の確保・充実】

予算額：(21) - 千円 (22) 6,708千円

事業概要：地域の漁家経営のモデルとなり得る強い漁家経営体を育成するために、生産者による水産業の体質強化のための取組を支援し、収益性の向上をはかります。

(舞) 閉鎖性海域再生のための漁場環境保全創造事業【基本事業名：22603水産生産基盤の整備】

予算額：(21) 666,086千円 (22) 666,086千円

事業概要：閉鎖性海域（伊勢湾、英虞湾）において悪化する生産力・水質浄化能力の回復や富栄養化した底質の改善を図るため干潟・藻場の造成や底泥の浚渫を行います。